

診療実績(H27.4~9月分)

1)総数

	H26年4月~H26年9月	⇒	H27年4月~H27年9月
	527人	⇒	531人
男性	200人	⇒	183人
女性	327人	⇒	348人

2)診断

ICD10	H25年10月~H26年3月	⇒	H26年4月~H26年9月
認知症等	76人(男33・女43)	⇒	112人(男25・女87)
薬物等の中毒症等	8人(男4・女4)	⇒	4人(男1・女3)
統合失調症等	77人(男28・女49)	⇒	72人(男28・女44)
うつ病・躁うつ病等	182人(男53・女121)	⇒	193人(男72・女121)
不安障害・神経症等	132人(男53・女79)	⇒	109人(男43・女66)
不眠症等	3人(男0・女3)	⇒	2人(男1・女1)
パーソナリティ障害等	7人(男1・女6)	⇒	4人(男1・女3)
知的障害等	6人(男4・女2)	⇒	3人(男1・女2)
発達障害等	8人(男2・女6)	⇒	4人(男2・女2)
小児等の行動障害等	10人(男5・女5)	⇒	2人(男1・女1)
その他	17人(男8・女9)	⇒	26人(男8・女18)
健康診断	1人(男1・女0)	⇒	0人(男0・女0)

3)年齢

年齢層	H26年4月~H26年9月	⇒	H27年4月~H27年9月
10代	20人(男6・女4)	⇒	15人(男2・女13)
20代	82人(男31・女51)	⇒	62人(男26・女36)
30代	72人(男34・女38)	⇒	77人(男37・女40)
40代	83人(男41・女42)	⇒	66人(男29・女37)
50代	53人(男21・女32)	⇒	49人(男25・女24)
60代	55人(男19・女36)	⇒	47人(男19・女28)
70代	75人(男17・女58)	⇒	89人(男19・女70)
80代	75人(男28・女47)	⇒	91人(男21・女70)
90代	12人(男3・女9)	⇒	35人(男5・女30)

27年度上半期の際立った特徴として認知症の患者さまの増加があげられ、今年8月より物忘れ外来も開始となり今後、認知症診療に力を入れていく、当院の方向性を反映したのとなっています。そのため70代から90代の患者様が増加しています。

■ご案内■

当院は予約制となっております。
初診の方も事前にご予約のうえご来院下さい。
診療受付時間(平日) 9:00~11:30
13:00~16:30
(土曜) 9:00~11:30
※土曜日は午前からの受付で、日祝日はお休みです。

〒004-0041
札幌市厚別区大谷地東5丁目7-10
TEL: (011) 891-3737(代)
FAX: (011) 891-3868

■ 診療科目 精神科 心療内科 内科
■ 診療予約専用TEL(0120)489-892
<http://www.ohyachi-hp.or.jp/>



- 地下鉄ご利用の方は、東西線大谷地駅で下車して5番出口より徒歩約10分です。
- 北広島、南幌、恵庭・中央長沼方面からは、JRバス(長沼線)で大谷地バスターミナルまでおいで下さい。



編集/大谷地病院広報委員会
発行/重仁会 大谷地病院

2015年12月 第44号

新任医師紹介 山本芳正先生



10月1日に着任しました山本と申します。和歌山県新宮市生まれで、大学時代は東京で過ごし医師となればは東北地方で過ごしました。その後、関東に戻り精神科病院・精神科クリニック・大学の学生相談室など色々な状況で診療を行い勉強してきました。

この間、PTSDの患者さんを診ることがきっかけでEMDRという心理療法を学んだことから臨床心理学も学び臨床心理士の資格もと、様々な心理療法も診療に取り入れてきました。

4年前に心機一転して初心に戻り精神医療に取り組みようと決意し、東京を離れて北海道に移ってきました。今回、大谷地病院で働くことになりまだ半月しか経っていませんが一緒に働く仲間の大切さを実感しています。いい医療を行ってほしいという同じ志を持った医師・看護師・コメディカルなどのスタッフに恵まれ、精神医療にはじめて関わった時のような期待を再び感じています。

現在、僕が精神科医になったばかりの頃とは想像できないくらい社会は変化しています。IT化が進み世の中が便利になりましたが、それにともない効率化・迅速化が優先され、人間に対しても機械のような正確さや能率を求められるようになりました。以前の社会が持っていた優しさ・余裕・あそびといったものが徐々に失われてきています。また、SNSをはじめとしてコミュニケーションの仕方も多様化し、人間関係もより複雑化しています。その結果、以前よりも気づかないうちに多くのストレスを抱える状況になっています。それにつれ年々精神科を受診する患者さんが増えてきています。

その中で精神科医療に対する新たな問題も指摘されるようになりました。一例を挙げると、最近一部の人が精神科治療において薬物療法の有害さを誇張し心理療法や代替医療などを推奨するという流れもあります。しかしながら、個々の病状によれば薬物療法の方が確実にかつ安全に治療できる場合もあり、薬物療法・心理療法・社会的なサポートを患者さんに適切に組み合わせて提供していくことが重要だと思います。現在の医療が置かれている状況は恵まれたものではないですが、その中で出来る限りの診療を行っていきたく考えています。

山本芳正(やまもと よしまさ)先生 略歴

和歌山県新宮市生まれで、平成2年3月東京慈恵会医科大学卒業。平成2年6月東北大学医学部精神医学教室入局。三牧橋病院をはじめ多数の医療機関等に勤務し、平成27年10月より医療法人重仁会大谷地病院入職。専門は、精神科診療全般、精神科救急、トラウマ関連疾患

所属学会：日本精神神経学会、日本精神科救急学会、日本トラウマティックストレス学会、日本抗加齢医学会、日本東洋医学会、日本心理臨床学会、日本EMDR学会、日本精神科救急学会評議員

- 新任医師紹介 山本芳正先生
- 資格者さんいらっしゃい
- ペット自慢
- 新CT導入について
- 新外来担当医表
- 診療実績(H27.4~9月分)



資格者さん いらっしゃい!

第3病棟の北山と申します。私は創傷（wound）、ストーマ（ostomy）、失禁（contenance）を専門とする資格取得のために、6ヶ月間北海道医療大学認定研修センターに進学し、睡眠不足とパソコンとの格闘・講義に実習とハードな毎日を送り資格を取得しました。

資格取得を目指した動機は新人時代に初めて亡くなった患者様が褥瘡による敗血症で、この時に「褥瘡さえできなかったらもっと生きる事ができたのではないか?」と思い、最後までキレイな体で退院させてあげたいと思ったからです。

資格を取ってからは、緩和病棟で癌性創傷で治せない傷も経験し当院に来てからは難治性ストーマや褥瘡ケア、失禁ケアをさせて頂き力不足を感じながらも一人でも多くの方の力になれるよう今後も努力していきたいと思う毎日です。

皮膚・排泄ケア認定看護師 北山利恵

放射線部より「新CT導入しました」



放射線部の機器が一新され、16列マルチスライスCTやMRIといった機器が導入されました。より一層鮮明かつ迅速に写真を提供できる環境が整いましたので、ご興味のある方は受付や医師、外来看護師、担当技師にお気軽にお問い合わせ下さい。どちらの検査もお待たせすることなく検査に入れます。

このたび導入されましたCTとMRIですが、CTとはX線を利用して人体の輪切り画像を撮影する検査です。3D画像を作成することも可能です。検査時間が短く5分程度で全身のスキャンをすることができます。

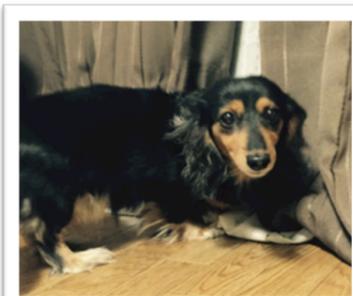
MRI検査はX線を使用せずに磁石の力を利用し撮影する機器です。検査時間はCTより長く20分程度かかりますが、被爆が全くない検査ですので安心して受けられます。

もし体調に少しでも不安のある方は是非、検査を受けられることをお勧めいたします。

放射線部 小川 義朋



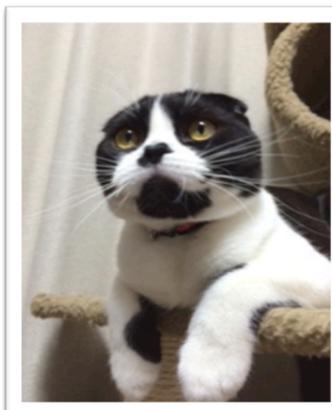
ペット自慢



やあちゃん
12歳
かんが大好き
で、常に誰
の膝の上に
来ている甘
ん坊な我が
家の愛犬です!



蝦夷山椒魚
おチビ(孵化後:5ヶ月)
最近はお走計画を企てて
いる模様



まる(2歳7カ月)
まんまるの男の子
です。



ウェルシュコー
の「マギー」
(3才4ヶ月)
縁あって熊本から
来ました。ディ
ク&アジリティに
挑戦中です。
応援よろしくね♪

外来担当医表

H27.10.7~

		月	火	水	木	金	土
午前	1 診	田尾(重)	田尾(大)	田尾(重)	小山	田尾(大)	田尾(大)
	2 診	小山	晝間	渡邊	千葉	控井	千葉
	3 診	晝間	臼居	河合	河合	岸川	河合
	4 診	富樫	高杉	高木	高杉	高木	臼居
午後	1 診	小山	渡邊	田尾(大)	小山	渡邊	
	2 診	千葉	控井	山本	渡邊	晝間	
	3 診	河合	岸川	控井	晝間	山本	
	4 診			千葉		臼居	

※月曜~金曜の午前の4診は内科となります。

